

授業科目名	グルーミング実習Ⅱ	科目コード	262028		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容・グルマーコース	学 年	2年
担当教員	飯田 慎司、飯田 一世、日高 翔太、植村 和代				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 実務経験内容：飯田 慎司 (神戸市でトリミングサロン経営) 飯田 一世 (宮崎市でトリミングサロン経営) 植村 和代 (ペットショップ・動物病院勤務)				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	360 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	8 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	最新ドッググルーミングマニュアル			
	著 者	原 順造、他			
	出版社	社団法人 ジャパンケネルクラブ			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	全犬種標準書				
授業形態	講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 犬のグルーミングを実際に行い、コミュニケーション能力とグルーミング技術の向上を目指す。保定技術や仕上がりの美しさを目指す。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 職業としてトリマーを目指すため「犬に尊敬されること」を常に念頭に置き、その犬種の魅力を生かした美的表現が出来るようスタンダードを理解したうえで、トリミングを行う。</p>					
<p><成績基準・評価基準>前期・後期に実技試験を実施して評価を行う。実技試験は、ラムクリップを2時間で仕上げ、その仕上げ及び道具、犬の扱い、受験に対するマナーを採点する。前期、後期共に実技試験の内容は同じだが、後期試験はより高い水準での評価とする。 ＊評価基準は、前期・後期とも1級を評価基準とする(グルーミング実習評価表添付)。 100点満点とし、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」59点以下を「不可」とする。「不可」の者は追試験を行う。追試験でも合格点に満たなかったものは、「評価なし」とし進級認定会議時に審議を行う。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><関連科目他> 犬学・グルーミング理論</p>					

授業科目名		グルーミング実習Ⅱ	
6H/回	授 業 内 容		備 考
1	モデル犬実習		
2	モデル犬実習		
3	モデル犬実習		
4	モデル犬実習		
5	モデル犬実習		
6	モデル犬実習		
7	モデル犬実習		
8	モデル犬実習		
9	モデル犬実習		
10	モデル犬実習		
11	モデル犬実習		
12	モデル犬実習		
13	モデル犬実習		
14	モデル犬実習		
15	モデル犬実習		
16	モデル犬実習		
17	モデル犬実習		
18	モデル犬実習		
19	モデル犬実習		
20	モデル犬実習		
21	モデル犬実習		
22	モデル犬実習		
23	モデル犬実習		
24	モデル犬実習		
25	モデル犬実習		
26	モデル犬実習		
27	モデル犬実習		
28	モデル犬実習		
29	モデル犬実習		
30	前期実技試験		
31	モデル犬実習		
32	モデル犬実習		
33	モデル犬実習		
34	モデル犬実習		
35	モデル犬実習		
36	モデル犬実習		

(学) 宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校
2026年度 授業シラバス

37	モデル犬実習	
38	モデル犬実習	
39	モデル犬実習	
40	モデル犬実習	
41	モデル犬実習	
42	モデル犬実習	
43	モデル犬実習	
44	モデル犬実習	
45	モデル犬実習	
46	モデル犬実習	
47	モデル犬実習	
48	モデル犬実習	
49	モデル犬実習	
50	モデル犬実習	
51	モデル犬実習	
52	モデル犬実習	
53	モデル犬実習	
54	モデル犬実習	
55	モデル犬実習	
56	モデル犬実習	
57	モデル犬実習	
58	モデル犬実習	
59	モデル犬実習	
60	後期実技試験	

グルーミング実習評価表（前期・後期）

試験時間120分 合格点70点

項目	試験前チェック 10	道具の使い方 10	作業中の安全性(犬) 20	作業内容 10	仕上がり 40	受験態度 10
共通項目	乾かし忘れ 毛玉、もつれ 毛が伸ばせていない	落下(減点) 道具を両手で持つ 両手に道具を持つ コームでテーブルの毛を払う クリッパー・シザーをテーブルに置く	犬の扱いが荒い 犬から手を離す 落下(失格) 保定が不完全(無理やり) 四肢を高く上げすぎたり、無理な方向に上げている 怪我小(止血可能) 続行 怪我大(処置が必要なもの) 失格 スタックできていない(姿勢)	作業の手順 時間配分 シザーリングがおかしい	バランスが悪い 表面が揃っていない	
後躯	尾つき 後肢 タックアップ アンギュ 尾	クリッパーの使い方 肢クリッパーの使い方 腹クリッパーの使い方			角度がついていない 重すぎる、切りすぎ タックアップの位置(後ろ過ぎない)	
中躯	背線 アンダー ウェスト		スタック(姿勢)がまっすぐかどうか 乳頭を確認しているかどうか		曲がっている 切れていない できていない又は極端か	
前躯	フロント 肩 フロント～ アンダー					
頭部・頸部	顔(クラウン) ネック	マズル・イマジナリーライン	シザーの刃先の向き	目線が近すぎる	犬種の形容になっているか 鋭角過ぎる	
バランス	面 バランス				そろっていない アンバランスである	
受験態度 10			挨拶 つめが長い 態度が悪い 目に余る身だしなみ(アクセサリー) テーブルの机上の汚れ(毛の処理) 怪我の未申告			

: 試験前にモデル犬のチェックとドライングの状態を確認してください。